

みとよ社協だより

しちふく

~七つの福の結晶~

No.54

2019年
10月



夏休み子どもパン教室(6P掲載)

コスモスサイターズ登場♪

(みとよきらっと☆くらぶ 7P掲載)

主な内容

- 2019夏のチャレンジボランティア講座 2P～3P
- 七福通信 4P～6P
- みとよきらっと☆くらぶ 7P
- 赤い羽根共同募金 8P



この広報紙は共同募金助成金により発行しています。

参加学校数12校、
延べ91人の
参加がありました。
ご協力頂きました
ボランティアの皆様、
ありがとうございました。



4 子育てサロンボランティア

(協力団体:辻地区社会福祉協議会)



小さい子どもたちとふれあえて楽しかったです。子どもたちの他にも、地域の人たちと交流できて良い機会になりました。

8 豊中読み聞かせボランティア

(協力団体:お話ボランティア夢ふうせん)

はじめはすごく緊張していたけど、図書館の人の読み聞かせや手遊びを聞いているうちに緊張がとけてきて、声もふるえずに読み聞かせができたと思うので良かったです。



12 仁尾読み聞かせボランティア

(協力団体:仁尾町図書館ボランティアあいびいす)



小さい子どもたちとふれあえて楽しかったです。子どもたちの他にも、地域の人たちと交流てきて良い機会になりました。

~活動の様子や参加された学生の感想をご紹介!!~



1 高瀬読み聞かせボランティア

(協力団体:おはなしの会たかせ)

相手のことを考えるのが1番大切なんだと思いました。読み方はもちろん、本を選ぶ時から色々なことを考えていることが分かりました。



5 異世代交流ボランティア

(協力団体:大見地区社会福祉協議会)



色々な子どもたちと話をしたり、遊んだりすることが出来たので、それを将来に活かしていきたいと思いました。



9 ふれあい会食ボランティア

(協力団体:松崎地区社会福祉協議会)

「おいしい」と言ってくれたのでとても嬉しかったし、達成感もありました。食事の準備をするときにボランティアの方がてきぱきと動いて勉強になりました。



13 こすもす広場ボランティア

(協力団体:こすもす広場)



お年寄りの方は親しみをもってたくさん話をかけてください、馴染むことができました。お話をしたら喜んでくれて、とてもやりがいを感じました。



夏のチャレンジ ボランティア講座2019

ボランティア活動の理解と扱い手作りの取り組みとして、三豊市ボランティアセンター主催による三豊市内の中学
校、三觀の高等学校に通う学生を対象とした夏のボランティア講座を開催しました。

ボランティア講座の様子は、社協ホームページ内にある三豊市ボランティアセンターのページにも掲載していますのでぜひご覧ください！

社協ホームページ <http://www.mitoyoshakyo.or.jp>



2 音声訳ボランティア

(協力団体:みとよ音声訳の会「ぽかぽか」)

音声訳と言うものを知り、こういう形で手助けが出来るんだと思いました。発音の仕方なども知れて良い経験になりました。



3 点字訳ボランティア

(協力団体:点訳サークルアイ・みとよ)

とても楽しかったです。点字は色々なところで活躍していることが分かりました。



6 お楽しみ会ボランティア

(協力団体:豊中町愛育会)



みんな楽しそうにしてくれてほっこりしました。「ありがとう」と言ってくれた時、嬉しかったです。



7 託児ボランティア

(協力団体:豊中町愛育会・
子育てボランティアみみちゃん)



上手くおむつを交換できて良かったです。最後には寝かしつけることが出来て、とても良い経験になりました。



10 音楽ボランティア

(協力団体:詫間地区民生委員・
児童委員音楽ボランティアグループ)

一緒に歌って楽しかったです。地域の人との交流が出来て良かったです。



11 子どもが主役の夏まつりボランティア

(協力団体:たくまこども食堂はぴねすカフェ)

とても楽しかったです。地域のみんなで協力していてすごいと思いました。また参加したいです。



61



高瀬町の偉人知っていますか?

7月24日 高瀬

通信



爺神山麓にあった私塾「爺陽塾」の看板を発見したことを見つかり、その歴史について調べていく中で、創設者の親族である高瀬町比地一出身で大正製薬株式会社創設者である石井絹次郎氏の業績や軌跡について会員の方がまとめられ、高瀬町老人クラブの役員会にて報告会を行いました。石井氏は、多才な才能を發揮し、強い意志と努力で会社を大きくしていったことが分かりました。また、最後には高瀬の子どもたちに夢を持ち、努力することの大切さを教えていきたいと報告してくれました。老人クラブでは会員同士で様々な情報交換を行い、知識や交流を深めています。

夏の子育てボランティア体験

7月27日 山本



水遊び！流しそうめん！聞くだけで心おどる行事に、中学生3人高校生1人計4人の学生ボランティアさんが参加してくれました。山本町辻地区社会協の子育てサロンは、いつもワクワクドキドキの内容で、年5回開催しています。

大きな青竹の流しそうめん台は丁寧な仕事で作られ、そうめんがとても滑らかに滑ります。めんつゆの器も青竹で、雰囲気を盛り上げていました。

学生ボランティアさんは、ゆであがったそうめんを一口大に丸め、それをテンポよく流す作業や、子どもたちの水鉄砲的になつたり、調理室で洗い物や片づけの手伝い、テキパキと動き、とても

たのもしい助つ人となってくれました。これからもっと色々な体験をして成長してくれることと思います。

日頃の見守り活動の大切さ

7月5日 三野



三野町下高瀬地区で日頃の見守り活動によつて、一人の高齢者の命が助かる事例がありました。一人暮らしの高齢者を静かに見守り、声掛けを行つていただご近所さん。また、新聞がたまっていることで異変に気付いた配達員。そして、それを不審に思つた地域の方へ繋いだ販売所の方。連絡を受け訪問した地域の方や民生児童委員。だれか一人でも欠けていたら、助からなかつたかもしれません。日頃からこの地域の繋がりや声掛けが、実を結んだ瞬間でした。





**今年も大人気！
夏休みこども寺子屋**

7月23日 三野



毎年大人気の夏休みこども寺子屋（みの元塾主催）が今年も開催されました。初日は、講師に三野町公民館の香川千尋さんとボランティアで集まってくれた三野津中学校美術部の皆さんを迎えて、ポスター教室が開催されました。毎年定員をはるかに超えて応募が殺到する、大人気の講座です！

講師からポスターを描くポイントを聞くと、なるほど：と頷くことばかり。お兄さん、お姉さんにアドバイスをもらしながら、みんな真剣にポスターを描きすすめていきました。

頑張った後には、美味しい軽食もいただけて、子供たちや保護者にとって、大変有意義な時間となりました。ありがとうございました！

街角喫茶（サロン）について考えよう！

7月30日 豊中



豊中町老人クラブでは、第5回となる社会部・女性部合同「第5回 共に学ぶ研修会」を開催しました。昨年より多い54名が参加し、「街角喫茶（サロン）をみんなで楽しむためによく会員増強に向けて」とテーマに、DVD視聴後、5グループに分かれて「参加意識が高まるようそれぞれのサロンで工夫していること」など意見交換しました。「人暮らしの人にとって、思いを吐き出す場になっている」「料理から弁当にかえたら楽になりました」「計画を立てるとやりやすい」など色々な意見が出ました。

研修後、サロンで使えるグッズの展示スペースには多くの方が集まり、実際に手に取り、「今度使ってみようかな！」と話が弾みました。

詫間町老人クラブでは、第5回となる社会部・女性部合同「第5回 共に学ぶ研修会」を開催しました。昨年より多い54名が参加し、「街角喫茶（サロン）をみんなで楽しむためによく会員増強に向けて」とテーマに、DVD視聴後、5グループに分かれて「参加意識が高まるようそれぞれのサロンで工夫していること」など意見交換しました。「人暮らしの人にとって、思いを吐き出す場になっている」「料理から弁当にかえたら楽になりました」「計画を立てるとやりやすい」など色々な意見が出ました。

詫間町の民生委員・児童委員の有志で結成された音楽ボランティアは、毎月第1木曜・第3月曜・第4金曜日（変更になる場合あり）に町内の施設に訪問して入所者の方々と一緒に楽しい時間を過ごしています。童謡を中心に誰でも簡単に気軽に歌える歌を歌集にして、それを見ながら歌うので知らない歌でも歌えるように優しい工夫がされています。また、歌うので知らない歌でも歌えるように優しい

**民生委員・児童委員の
音楽ボランティア**

詫間



地域の皆様が優しい活動が続いて入所者の方々を含め地域の方々を含めいきいき出来る事を願います。



元気に歌ってバンザイ♪バンザイ♪



ボランティアの方と一緒に手拍子して歌ってます♪

夏の風物詩“流しそうめん”

8月1日 仁尾



仁尾地区社会福祉協議会・仁尾町公民館共催で小学生を対象に、10年近く継続して行われている子ども流しそうめん。今年は公民館【伝承活動の皆さん】が竹の器を作つて下さいました。
竹で作つたレーンに次々と流れてくるそうめんに子ども達は大はしゃぎー自分で磨いた竹の器を使っておいしくいただきました。

夏の暑さを少し

忘れさせてくれる時間となり、これからも地域の子どもたちの為に継続してほしい事業の一つです。

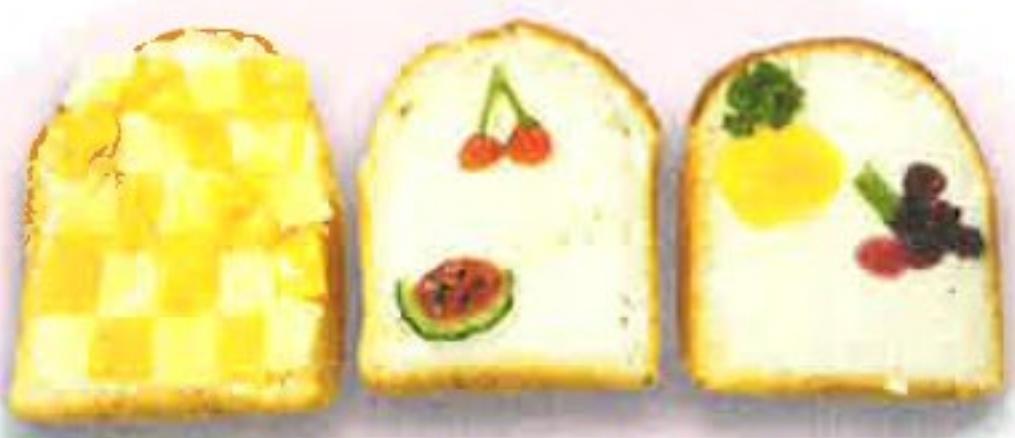
仁尾地区社会福祉協議会・仁尾町公民館共催で夏休み子どもパン教室が行われました。小学2年生～4年生の元気な男女10名が仁尾町市民センターの調理実習室に集まり、原紀久代先生指導のもと、食パンアート・白玉フルーツ・レモンソーダー作りに挑戦!!

こんがり焼きあがつた食パンに「ワア」と歓声が；ジャム、野菜を使って食パンに絵を書く姿は真剣そのもの！

食パンアートができあがつたらみんなでおいしくいただき、夏休みの楽しい思い出ができました。

夏休み子どもパン教室

8月6日 仁尾



一緒に歌えて楽しかった
また待ってるよー

6月13日 財田



元気いっぱいの財田幼稚園の5歳児のお友だちが、財田町デイサービスセンターを訪問してくれました。歌や手を使った遊び、お手玉。最初はどう接すればいいかわからなくて緊張気味だった雰囲気もすぐに打ち解けました。かえるの歌の輪唱では子どもたちと利用者のパートに分かれて歌いました。相手側につられないようにとお互いにしっかりと歌い切つたのが印象的でした。介護者たちも一緒に歌わせてもらい、ホール内は一体となりました。どの遊びでも優しいまなざしと人懐っこいしぐさに、みんなが心から穏やかな時間を過ごしました。

『みとよきらつと☆くらぶ2019』

★梅雨明けの猛暑とともに、元気いっぱいの子どもたちがやってきました★

『みとよきらつと☆くらぶ』は、夏休み期間中、障がいを持つ子どもと、その兄弟姉妹の遊び場・交流の場として、一時的にお子さんをお預かりするサービスです。

7月下旬から8月上旬までの8日間、6歳から17歳までの子どもたち延べ78名が参加、地域のボランティアや学生ボランティア延べ93名の協力により、無事に終了しました。今年度は新たに手品の催しの時間を設けるなど、イベントボランティアによる催しもあり、連日子どもたちの笑顔あふれる楽しい時間となりました。



7月29日 腹話術・手品



7月30日 読み聞かせ



7月31日 読み聞かせ
トーンチャイム・ギター演奏



8月1日 手品



8月2日 音楽会

★イベントボランティア催し

7月29日 豊中町 土井様・山本町 片木様
観音寺市 石川様

7月30日 豊中町
おはなしボランティア 夢ふうせん 様

7月31日 財田町 コスモスサイターズ 様

8月 1日 観音寺市
観音寺マジッククラブ 様

8月 2日 坂出市
音楽ボランティア びすけっと 様



保護者の声

来年も利用したい!

- 家庭とは違った新鮮さがあり、毎年楽しく利用しています。
- たくさんの方とふれあうことができ、良い経験になりました。
- 子どもがニコニコ顔で通っており、毎回楽しめているようです。
- 家族もリフレッシュできて助かりました。

ボランティアの声

来年もまた参加したい!

- 子どもたちのかわいい笑顔を見るとホッとします。
- 子どもの良さが見えた時、参加して良かったと思いました。
- 初めての参加でしたが、皆さんのフォローがあり子どもたちと楽しく過ごせました。
- ご家族の息抜きになればと思い参加しました。
- とても意味のある行事で、多くの方に一度でも参加してもらいたいと感じました。
- ここで出会った皆さんは本当に素敵な方ばかりでした。

★ボランティア協力者・協力団体

個人ボランティア、四国学院専門学校、豊中町ボランティア タンポポの会、
子育てボランティア みみちゃん、三觀まちづくりカンパニー Hataくらす、三觀地域自立支援協議会





赤い羽根共同募金

毎年、皆さまから温かいご寄付をいただき、ありがとうございます。

今年も赤い羽根共同募金運動が10月1日からはじまりました。お寄せいただきました寄付金は香川県共同募金会を通じて、県内の民間福祉施設や、じぶんの町(三豊市)の地域福祉事業に助成されます。皆さまの温かいご支援、ご協力をよろしくお願ひします。

令和元年度

募金目標額: 23,100,000円

(令和2年度事業)

・広域助成事業、災害活動等支援

4,819,000円

・地区社協等が行う地域福祉活動

29事業 2,673,000円

・福祉団体、ボランティア団体等が行う
地域福祉活動

69事業 4,415,000円

・三豊市社会福祉協議会が行う
各種地域福祉活動

8事業 11,193,000円



▲令和元年度
うどんバッジ



あなたの町の募金は、
あなたの町のために使われています。

赤い羽根共同募金は、行政の手が届かない
小さな「困った」と「めざめに使ひにくさ」。
町主導、本音の想いを込めて地域で運営を行います。
個人的なお金ではなく、花咲けの「情熱」だとお思われる。
赤い羽根は「この町を良くしたい」という想いから生まれたのです。

じぶんの町を良くするしくみ
赤い羽根共同募金



平成30年度事業助成 ありがとうメッセージ

「三豊市食生活改善推進協議会 仁尾支部」

夏休みに児童館の子ども達に料理講習をしました。「1日3食ま
ず野菜!」をテーマに、ちりめんおにぎり・夏野菜のラタトウイユ・
ミモザサラダ・野菜ミルクゼリーを作りました。子ども達は、「野菜
をたくさん切るのが難しかったけど、ミルクゼリーを作るのが楽
しかった!」等の声がありました。試食の時には、「ま
ず野菜から食べましょう。」と声かけをして楽しく試
食をしました。洗い物や後片付けも丁寧にでき、また一緒に料理を作りたいと考えています。今後とも、
よろしくご支援下さいますよう、お願ひ致します。



「介護予防ボランティア養成講座」開催のお知らせ

近年、独居高齢者や高齢者夫婦世帯が増加し、高齢者が地域で安心して暮らし続けるためには、地域の皆さんの支え合いがとても大切です。「介護予防ボランティア養成講座」とは、地域で介護予防の知識の普及や、高齢者等への声かけ・見守り活動などのボランティア活動に取り組むための講座です。地域の役に立ちたい、ボランティアに興味があるという方は、自分のために、また、地域のために参加してみませんか？講座を修了された方は、「受講修了証」をお渡しし、介護予防サポーターとして認められます。受講後の活動は、地域の高齢者への声かけ・見守り活動やその他のボランティア活動など様々です。



| | | |
|-----------------------|--------------------------|--|
| 日 時 ・ 内 容 | 10月23日(水) 13:15~16:10 | ・三豊市の現状と介護保険制度 ・ボランティアについて |
| | 10月24日(木) 13:30~16:30 | ・口腔ケアについて ・認知症の理解 ・みとよ元気体操 |
| | 10月30日(水) 13:30~16:10 | ・高齢者における緊急時の対応 ・傾聴・グリーフケアについて |
| | 10月31日(木) 13:30~16:20 | ・音楽療法 ・定年後の生きがいづくりについて ・社会福祉協議会の活動について |

※介護予防・生活支援サービス事業（総合事業）の住民主体による支援（サービスB）を始める方は、この講座を受けることが必要です。

※本講座は三豊市より委託を受け、三豊市社会福祉協議会が実施します。

場所: みとよ未来創造館3階
対象: ①三豊市在住の方ならどなたでも
②全日程を参加できる方
定員: 40名
※定員になり次第、受付終了いたします。
費用: 無料
申込方法: 社会福祉法人三豊市社会福祉協議会へ
電話で申込み ☎ 63-1014
申込期限: 10月1日(火)～10月15日(火)
(8:30～17:15まで土日祝日除く)

問い合わせ・申し込み

社会福祉法人三豊市社会福祉協議会 本所
☎ 63-1014

まるみプラン“地域に出向いての防災教育の実施”

6/22

三野町下高瀬小学校4年生の親子70名を対象に、防災行動訓練「EVAG」（なりきり！防災カードゲーム）を実施しました。今回は、実際の下高瀬地区のハザードマップを活用し、「体験・参加型」のシミュレーションを通して、災害時に情報を受け取った人が避難行動を疑似体験することで、普段の備えと災害時の判断、地域で生活する自分以外の様々な立場の人について考えるきっかけとすることをねらいとしました。

全体で災害時の情報を確認



(シミュレーション)
自分以外の人（外国人、妊婦、高齢者等）になりきり！災害の状況にあわせて子ども達が自分で避難行動を考えます！

避難所受付

避難所ワーク

（グループワーク）

- ・水かさが増すと避難しにくくなる
- ・日本語が理解できない人にも伝えられたらいい
- ・子どもだけで避難するか、ペットを連れて避難できるか迷った
- ・家族でルールを決めておくといい
- ・近所付合いを普段からしておくと助け合える



実施後の保護者からの感想

- ・自分の住んでいる地域の危険性を子どもと一緒に確認できた。備えが大事と思った。
- ・自分以外の立場で災害時の対応を考えることで、いつもより考えて行動していた。良い経験になった。
- ・これを機に家族でどうするか話し合いたい。子どもにも話し合いに入ってもらい分かりやすく説明したい。
- ・避難場所を事前に親子で確認し、事前準備が必要と思った（避難中の事故、寒さ、雨対策など）

難しいかなと思ったけれど、子どもがこんなに集中して取り組むとは思わなかつたです。



『子育ては、親の心のゆとりが大事。子育て中の親の労力よりも、気持ちをサポートしたい』。穏やかな笑顔でそう話していく森さん。現在、子どもに関わるボランティア活動を続けられている森さんに、活動をはじめたきっかけをお聞きました。

子育てした経験から、専門的な知識も身につけ何か手伝いができる、と思ったのがきっかけで、平成25年にみとよファミリー・センターの「まかせて会員養成講座」を受講されました。その後、また預かりや送迎など、現在も活動を続けられています。援助をおねがいするお母さんとのやり取りの中で、子育ての悩みや不安をふと聞くことも多く、そんな時にはこれまでの経験からアドバイスをしたり、頑張っているお母さんを励ましたり、ただ話を聴いたり…。子どもを通じて、子育て中のお母さんの良きサポート役もあります。また、ヘルパー2級の資格をお持ちで、ヘルパーや高齢者デイサービスで働いた経験もあり、子育てホームヘルプ事業のヘルパ役についても立派な経験で、その役も立派な経験です。

自に対しても、周囲に対しても無理をせず、自分でできる範囲ですることを大切にします。前向きに活動をされている森さん。森さんと話をしていると、忙しくても、それを感じさせない優しさとゆとりが伝わってきました。



【今回のボランティア】



三豊市社会福祉協議会
子育てボランティアみみちゃん
会長 森 恵美子さん(豊中町)



第14回三豊市社会福祉大会



とき 令和元年11月9日(土)

ところ みとよ未来創造館(旧高瀬町農村改善センター)

参加料 無料(お気軽にご来場ください)

内 容 9:00 受付

9:30 開会・表彰式典

10:50 記念講演

12:30 閉会

講師 中井 宏次氏

NPO法人健康笑い塾主宰

演題 「健康と笑い

～人生100年時代 楽しく・おもしろく～」

《要約筆記・手話通訳あり》



社会福祉大会は共同募金助成金により実施します。

